

平成22年5月期 第2四半期決算短信

平成22年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日
 配当支払開始予定日

(氏名) 信太 明
 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第2四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第2四半期	1,288	44.8	104		104		47	
21年5月期第2四半期	2,333		122		125		78	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第2四半期	661.53	
21年5月期第2四半期	1,091.44	1,042.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第2四半期	1,720	1,327	77.0	18,296.66
21年5月期	1,825	1,410	76.8	19,363.35

(参考) 自己資本 22年5月期第2四半期 1,325百万円 21年5月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期		0.00		400.00	400.00
22年5月期		0.00			
22年5月期 (予想)				300.00	300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,042	19.8	108	37.4	140	68.9	109		1,508.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第2四半期	72,428株	21年5月期	72,428株
期末自己株式数	22年5月期第2四半期	株	21年5月期	株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第2四半期	72,428株	21年5月期第2四半期	72,008株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の実績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は4ページ「[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部持ち直しの兆しは見えつつあるものの、依然として企業収益および雇用情勢は厳しく、個人消費も低調に推移しております。そのため、多くの企業においては、広告宣伝費等を抑制する傾向が継続しております。

当社グループを取り巻くインターネット広告市場は、引き続き成長は続けているものの、従来よりもその速度はゆるやかになってきております。

このような中、当社グループは事業構造の転換を最も重要な経営課題と認識し、様々な施策を積極的に行ってまいりました。まず、従来からの検索エンジンマーケティング (SEM) によるコンサルティングサービスにおいては、国内向けの販売促進用途のみならず、他の分野におけるサービス開発にも注力し、ライナップの拡大を図ってまいりました。

当社グループは英語・中国語などの多言語でのSEMに関して、サービス提供体制を強化するとともに、中国・香港企業からの受注も拡大すべく、平成21年11月16日に、香港においてトップレベルの実績を誇るSEM コンサルティング会社であるAsiaPac Net Media Ltd.と業務提携契約を締結しました。

また、訪日・在日外国人向け総合情報サイト「Visit First (ビジットファースト)」を立ち上げるとともに、日本政府観光局 (JNTO) の正式な指定を受けた外国人向け案内所「Visit First Salon (ビジットファーストサロン)」を当社内にオープンさせ、多言語によるマーケティングのコンサルティングを強化し、事業ポートフォリオの拡充による収益構造の強化に努めております。

アウングローバルマーケティング株式会社においては、ネイティブライターの知見を体系的に情報発信していくべく、平成21年10月1日に、「英文広告総合研究所」を設立いたしました。国内でも希少な組織であり、ネイティブならではの視点で、外国人向けのプロモーション活動を支援する取り組みを行っております。英語でのコピーライティングにとどまらず、翻訳までライナップをそろえることで、さまざまな多言語プロモーションニーズに対応する体制を整えております。

当社グループの提供するサービスの付加価値向上と事業における効率性追求のため、子会社であるアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.においては、引き続き、機能の拡大・強化をしてまいりました。

上記のような取り組みを行ったものの、引き続き主要クライアントの受注減少が損益状況に大きな影響を与えることとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,288百万円 (前年同期比44.8%減)、営業損失は104百万円 (前年同期は営業利益122百万円)、経常損失は104百万円 (前年同期は経常利益125百万円)、四半期純損失は47百万円 (前年同期は四半期純利益78百万円) となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

<SEM事業>

国内の販売促進分野のみにとどまらず、付加価値の高い当社オリジナルのサービス提供に取り組んでまいりました。AsiaPac Net Media Ltd.との連携等により、海外マーケット向け、訪日・在日外国人向けのサービスの開発を行い、新たな市場の開拓を行ってまいりました。また、iPhone向けに、国内アプリの広告収益化促進や多言語化のプロモーション支援を開始しております。

主力商品である検索エンジン最適化 (SEO) は、PCおよびモバイルにおいて、引き続き新商品の開発など積極的な取り組みを行っております。

さらに、当社グループはより高い付加価値の提供と効率性を目指すべく、アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.の安定稼働を進め、日本語のみならず多言語での業務品質の向上とコスト構造の転換を引き続き進めてまいりました。SEOおよび検索連動型広告・コンテンツ連動型広告 (P4P) においては堅調に推移してはいるものの主要クライアントの受注量の減少を補うことができず、当事業の売上高は1,166百万円 (前年同期比44.8%減)、営業損失は45百万円 (前年同期は営業利益116百万円) となりました。

<クリエイティブ事業>

当社グループの強みである英語・中国語・日本語など多言語によるWebサイト制作やカタログなどのグラフィック制作また、多言語でのコピーライティング、翻訳において、着実に受注を獲得しております。

クリエイティブ事業においても、SEM事業と同様にアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd.との連携を進め、高品質なアウトプットを効率的に制作する体制を整備しております。ネイティブライターによる「英文広告総合研究所」の設立を行い、当社グループの強みを活かした事業展開を行っております。

しかしながら、大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響を受け、キャンペーンの規模が縮小したため、当事業の売上高は133百万円 (前年同期比40.2%減)、営業損失は59百万円 (前年同期は営業利益7百万円) となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%減少し、1,326百万円となりました。これは、主に配当金の支払や借入金の返済による現預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、394百万円となりました。これは、主に本社移転に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、347百万円となりました。これは、主に短期借入金の返済によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.3%増加し、45百万円となりました。これは、主にリース債務の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、1,327百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は955百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、145百万円（前年同期比59.2%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失40百万円、のれん償却費26百万円、売上債権の減少28百万円、法人税等の還付額107百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、70百万円（前年同期比12.5%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出34百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円、敷金保証金の支払による支出61百万円、敷金保証金の返還による収入37百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、66百万円（前年同期比1.1%減）となりました。これは主に、短期借入金の返済による減少40百万円、配当金の支払23百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年1月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通り、個別での業績が堅調に推移しているため、現時点での業績予想の修正はございません。

今後も損益状況の回復に向け、高い利益率を確保できる強固な経営基盤を構築すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,781	966,192
受取手形及び売掛金	303,718	332,018
仕掛品	18,621	10,422
未収還付法人税等	—	104,016
未収入金	4,723	—
繰延税金資産	12,611	66
その他	19,084	34,459
貸倒引当金	△5,268	△5,291
流動資産合計	1,326,272	1,441,884
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,370	13,314
減価償却累計額	△1,543	△7,491
建物(純額)	16,827	5,822
工具、器具及び備品	48,906	38,218
減価償却累計額	△26,379	△29,214
工具、器具及び備品(純額)	22,527	9,004
有形固定資産合計	39,354	14,827
無形固定資産		
のれん	142,619	168,754
ソフトウェア	38,325	41,021
その他	2,793	2,146
無形固定資産合計	183,738	211,922
投資その他の資産		
投資有価証券	54,569	47,752
敷金及び保証金	79,458	43,382
繰延税金資産	33,829	62,755
その他	3,311	2,854
投資その他の資産合計	171,169	156,744
固定資産合計	394,261	383,493
資産合計	1,720,534	1,825,378

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	205,636	182,738
短期借入金	—	40,000
1年内返済予定の長期借入金	3,353	5,351
未払費用	50,725	55,946
未払法人税等	1,782	1,558
未払消費税等	2,323	17,768
前受金	28,582	17,487
受注損失引当金	1,294	306
繰延税金負債	—	2,752
その他	54,182	49,228
流動負債合計	347,880	373,136
固定負債		
長期借入金	4,000	5,500
退職給付引当金	22,437	23,724
その他	18,847	12,200
固定負債合計	45,285	41,424
負債合計	393,165	414,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	516,804	593,688
株主資本合計	1,326,956	1,403,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,023	△421
為替換算調整勘定	△742	△970
評価・換算差額等合計	△1,765	△1,391
少数株主持分	2,178	8,367
純資産合計	1,327,368	1,410,816
負債純資産合計	1,720,534	1,825,378

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)
売上高	2,333,488	1,288,281
売上原価	1,818,330	1,020,126
売上総利益	515,157	268,155
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	392,594	372,981
営業利益又は営業損失(△)	122,562	△104,826
営業外収益		
受取利息	919	308
還付加算金	—	3,115
補償金収入	2,380	—
未利用チケット収入	—	1,134
その他	2,743	166
営業外収益合計	6,043	4,724
営業外費用		
支払利息	455	1,245
為替差損	3,118	806
有価証券評価損	—	1,649
その他	20	584
営業外費用合計	3,594	4,284
経常利益又は経常損失(△)	125,011	△104,387
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,485	771
賞与引当金戻入額	3,459	—
移転補償金	—	82,551
特別利益合計	5,945	83,323
特別損失		
投資有価証券評価損	577	—
固定資産除却損	—	549
事務所移転費用	—	18,867
特別損失合計	577	19,417
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,379	△40,481
法人税、住民税及び事業税	47,935	359
過年度法人税等戻入額	—	△377
法人税等調整額	4,170	13,879
法人税等合計	52,105	13,861
少数株主損失(△)	△318	△6,429
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,592	△47,913

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,379	△40,481
減価償却費	15,782	10,397
のれん償却額	91,235	26,134
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,485	△22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,088	△1,287
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,168	988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,091	—
投資有価証券評価損益(△は益)	577	1,649
受取利息及び受取配当金	△919	△308
支払利息	455	1,245
移転補償金	—	△82,551
固定資産除却損	—	5,731
売上債権の増減額(△は増加)	328,160	28,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,453	△9,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,105	22,897
その他	18,212	△5,894
小計	451,913	△42,268
移転補償金の受取額	—	82,551
利息及び配当金の受取額	919	308
利息の支払額	△516	△1,244
法人税等の支払額	△95,075	△1,563
法人税等の還付額	—	107,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,241	145,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,109	△1,200
定期預金の払戻による収入	—	2,502
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	—	600
有形固定資産の取得による支出	—	△34,780
無形固定資産の取得による支出	△2,982	△3,827
子会社株式の取得による支出	△62,743	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△61,679
敷金及び保証金の回収による収入	—	37,597
その他	3,897	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,937	△70,787

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,000	△40,000
長期借入金の返済による支出	△2,915	△3,498
株式の発行による収入	572	—
リース債務の返済による支出	—	△259
配当金の支払額	△70,330	△23,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,673	△66,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	△603	467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,026	8,490
現金及び現金同等物の期首残高	814,752	947,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,040,779	955,605

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,110,637	222,851	2,333,488	—	2,333,488
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,588	1,192	4,780	(4,780)	—
計	2,114,225	224,043	2,338,268	(4,780)	2,333,488
営業利益	116,217	7,366	123,583	(1,020)	122,562

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,158,709	129,571	1,288,281	—	1,288,281
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,206	4,306	12,512	(12,512)	—
計	1,166,916	133,877	1,300,793	(12,512)	1,288,281
営業損失(△)	△45,548	△59,538	△105,086	(259)	△104,826

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	801,980	△46.3
クリエイティブ事業	-	-
合計	801,980	△46.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	-	-	-	-
クリエイティブ事業	155,340	△17.9	65,757	△18.2
合計	155,340	△17.9	65,757	△18.2

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	1,158,709	△45.1
クリエイティブ事業	129,571	△41.9
合計	1,288,281	△44.8

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。